

昭和女子大学

ENVO

Enjoy Volunteer



Community team



Global team



Coordinate team

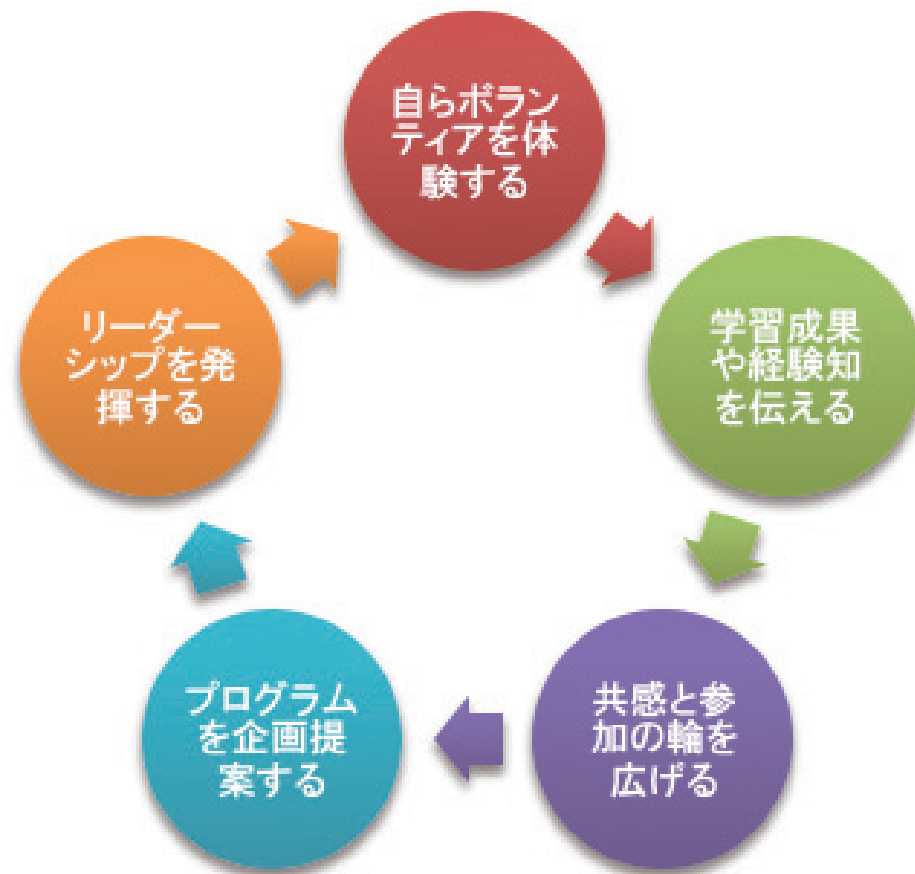


Network team

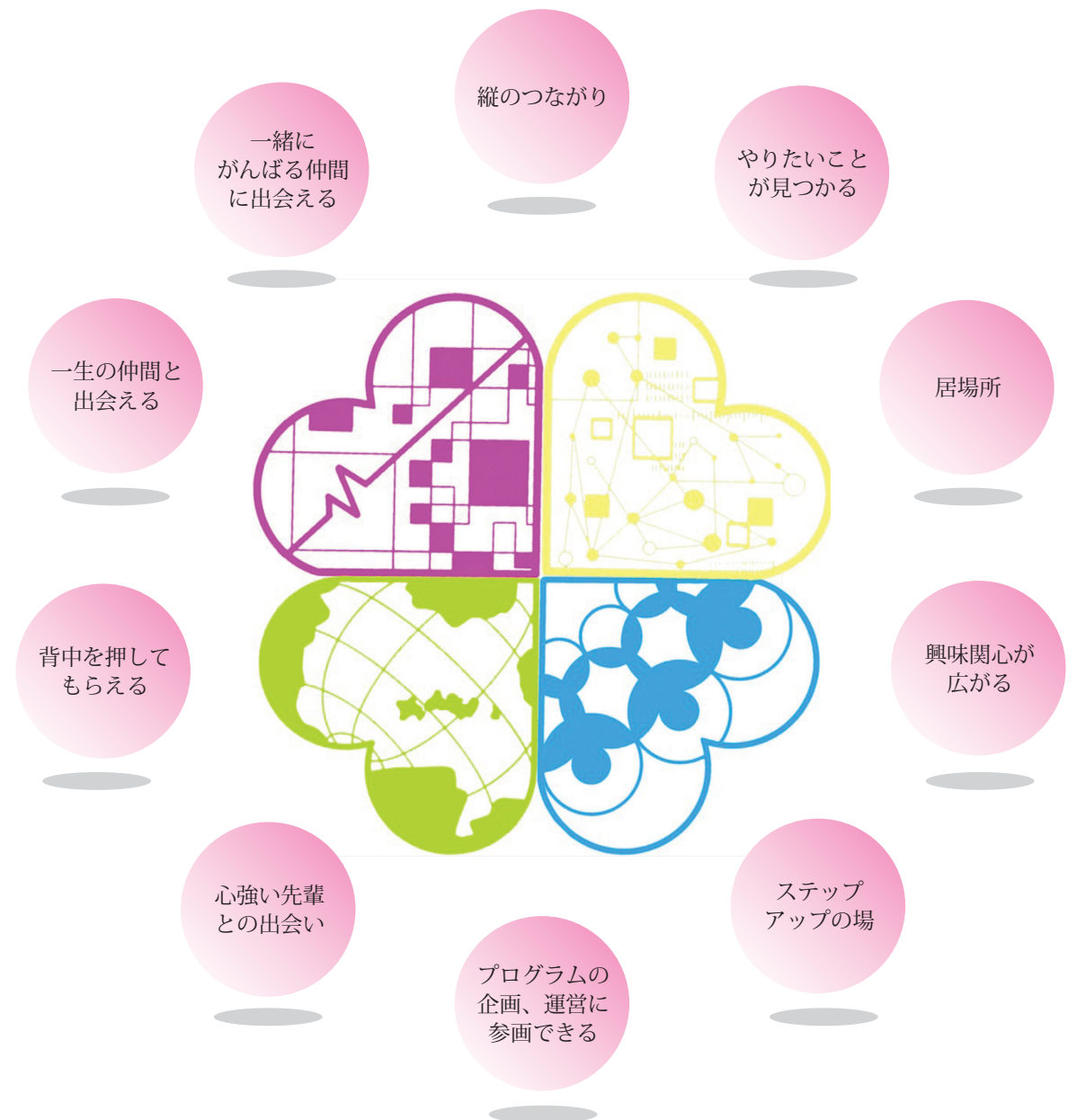
昭和女子大学 CSLセンター

コミュニティサービスラーニング（Community Service Learning）は、学生が教室で学んだ知識や技術を、コミュニティの課題解決のために応用しながら、理論と実践とを融合し深めていく授業です。CSLセンターは教育活動や学生の学習計画づくり、ボランティア活動の支援をしています。また、ピア・サポーターとして、公募に応じた学生ボランティアコーディネーター（ENVO）がプログラムの企画・運営に参加しています。

【 ENVO の5つのミッション 】



私たちにとっての ENVO とは？



ENVOって…？

Enjoy Volunteer！！からきているのです。

学生の感性を反映させるためにコミュニティサービslラーニング（CSL）センターの運営に参加し、
大学と学生のパートナーシップによって活動しています。

学生のボランティア活動の「水先案内人」です！ ENVO は4つのチームで支えられています。



Community team

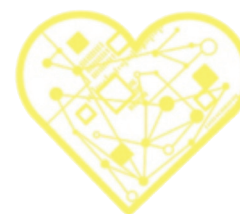
■ コミュニティチーム

【活動テーマ】

人と人との『つながりの輪』について考える。

【主な活動】

東日本大震災被災地の人びとの暮らしの再建に学ぶ宮城県女川町の学生ボランティアワークキャンプの企画・運営への参加。女川紙ランタンの普及協力等



Network team

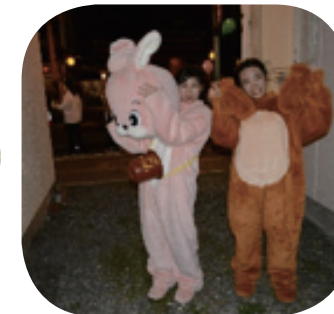
■ ネットワークチーム

【活動テーマ】

人と人とのつながりについて考える

【主な活動】

人と人、人とコミュニティの「縁」を結ぶ、長野県伊那市でのワークキャンプの企画・運営に参加等



Global team

■ グローバルチーム

【活動テーマ】

異文化を学び・尊重しあう。

【主な活動】

主に附属高校生と合同プログラムのタイチェンライ山岳少数民族の村での学生ボランティアワークキャンプに参加。秋桜祭での活動報告とフェアトレード・SDG s の普及活動等



Coordinate team

■ コーディネートチーム

【活動のテーマ】

学生のボランティアニーズと社会ニーズとの縁を結ぶ

【主な活動】

ENVO 間の交流促進を図る。世田谷ボランティア協会のせたがや学生ボランティアステーションへの参加等



ENVOメンバーに聴く！

学年別の ENVO への想い

1 年 若田部

「ボランティアに対するイメージが180度変わった」この1年間、最も強く感じたことです。授業も遊びも全て自由に選べる大学生。何か授業以外に経験を得たい、と淡い期待を抱き ENVO に入りました。5月、優しく迎えてくださった先輩方とアットホームな空間に、安心したことを覚えています。ここには「自分を成長させてくれる」機会がたくさん転がっています。放課後にフラッと本屋に寄るような感覚で、是非 ENVO ルームを覗いてみませんか？

3 年 鈴木

ENVO は私にとって「背中を押してくれる場所」です。頑張っているメンバーの姿や何気ない言葉掛けにいつも後押しされています。今では学内外様々な活動に参加をしています。元々はボランティア経験も趣味も、特にありませんでした。活動を通じ、身をもって「見て・聞いて・感じ・考えること」の意義を知ったことが、大きく心を突き動かしました。「とりあえずやってみよう」という小さな決意がきっと新しい発見を与えてくれると思います。ENVO メンバーはいつでも応援してくれます。

2 年 曾根

以前より、自分の意思で活動をするようになりました。例えば、タイチェンライのプログラムに参加した際、今の自分の甘さに気づき、自身に何ができるのか深く考えるようになりました。そこから国際協力に関心を持ち、一年後は個人的に同じ場所を訪れ活動しました。仕方なくやっていた活動とは違うので、周りの友達にも「ボランティアやろう」と自然な気持ちで呼び掛けています。

4 年 川野

私にとって ENVO とは、大切な出会いと学びの場です！大学生の内に何かやってみたい！と思っていた1年生の頃から、ENVO には学内外の様々な企画やワークキャンプに関われるチャンスがありました。そして未熟な私をサポートして下さる先輩方や悩みを相談できる同期と出会い、仲間と共に企画を成し遂げることが出来ました。先輩後輩も仲が良く、支えあった仲間のおかげでボランティア活動の幅を広げ、人と共に成し遂げる面白さに気づけた4年間でした！

ENVO Q&A

Q1. メンバーはどれくらいいるの？定員はある？

A. 57名です！定員は特にありません！

Q2. 活動頻度はどれくらい？毎週参加必須ですか？

A. 必ず参加してほしいものは5月・10月の研修会と月一回の昼休みの定例会です。そうは言っても、しなければならないというのは特になく、皆さんの自主性にかかっています。各チームや企画のリーダーにだけ負担が集中することがないように、チームワークづくりには重点を置いています。

Q3. 経費はかかりますか？

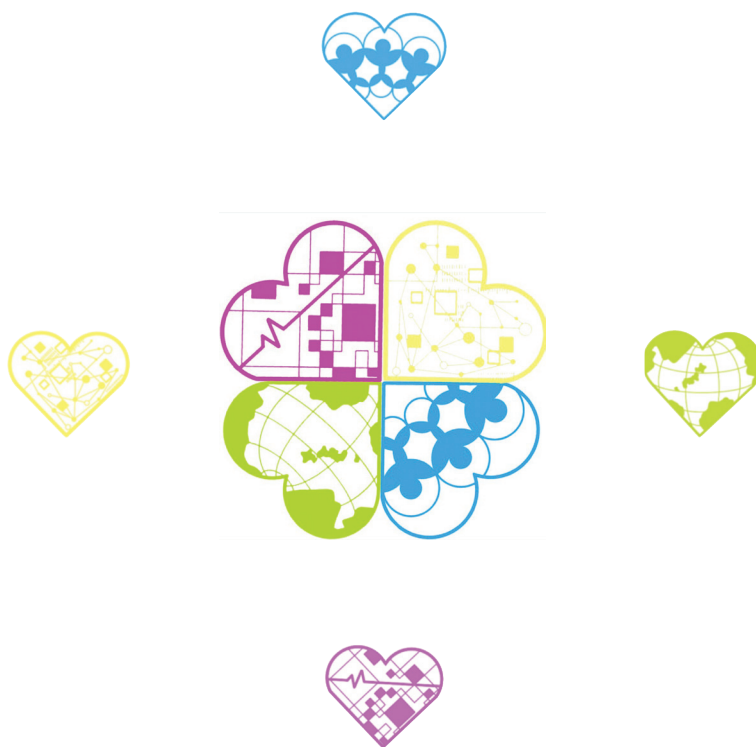
A. CSL センターと協働の活動については、個人にかかる経費（食費・宿泊費・交通費の一部など）以外はありません。

Q4. ボランティアをしたことが無くても入れますか？

A. もちろんです！これからボランティアをしてみたいという方でも大歓迎です。学内外様々な活動をしているメンバーから話を聴くこともできますので、ご自身のきっかけづくりの場にしてください！

Q5. 入るための条件はありますか？

A. 4月と10月（詳細はUPSHOWAに掲示されます）に先輩メンバーが中心となり開催される研修会への参加と月に1度のENVOの全体ミーティングへの参加をお願いします。それ以外にもチームごとのミーティングは適宜開かれます。参加できない場合でも、学年や学科を越えたふれあいを大切にチームワークづくりに最大の努力をいただければ大丈夫です！



昭和女子大学コミュニティサービスラーニングセンター

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57 (1号館 教学支援センター左)

TEL : 03-3411-5243 E-Mail : cs1@swu.ac.jp 開室時間 : 月～金 8:30-17:00 (土日祝日を除く)